

P3-10

愛知県がん登録室の 最近の活動と今後の課題

羽佐田 香代¹⁾²⁾、中嶋 和男¹⁾、青木 順子¹⁾、平岩 愛¹⁾、板生 春美¹⁾、
江口 幸香¹⁾、畔柳 美弥¹⁾、川浦 正規²⁾、尾瀬 功²⁾、伊藤 秀美¹⁾²⁾
1) 愛知県保健医療局健康医療部健康対策課 がん登録室 2) 愛知県がんセンター研究所 がん情報・対策研究分野

愛知県がん登録室の紹介

- ・愛知県人口 約754万人 (2020年国勢調査)
- ・届出件数 80,136 件 (2024年)
- ・がん罹患数 51,102 件 (2021年症例)
- ・実務体制 医学的支援 医師 5名
作業担当者 健康対策課職員 7名
(正規1名,非常勤2名,臨時職員4名)



愛知県がん登録のあゆみ

- 1962年 「悪性新生物患者登録事業」として発足
- 83年 愛知県がんセンター研究所疫学部による技術的支援開始
- 98年 愛知県がんセンター研究所疫学部に
愛知県がん登録中央登録室を設置
- 2006年 地域がん登録標準データベースシステムを導入
- 09年 愛知県がんセンター研究所疫学・予防部内にがん情報 研究室を設置
- 16年 「がん登録等の推進に関する法律」施行、全国がん登録へ移行

近年の取り組み

1. 登録精度向上に向け取り組み

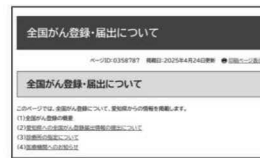
① 愛知県健康対策課「全国がん登録・届出について」HP刷新

【問題点】医療機関へがん登録の説明をする際、参照先が多いため説明がしづらい

【対策】該当頁を閲覧すれば届出ができる内容へ改訂。

参照HPを閲覧しやすいよう外部リンクを設定。(愛媛県がん登録のHPを参考)

【今後の課題】詳細情報HPの追加など



② 届出対象医療機関へのがん登録の再周知

【問題点】年間の届出数は増加しているが、届出医療機関数は減少傾向。

【原因】がん登録届出が義務(病院・指定診療所)であることを知らない？

医療機関のがん登録担当者交代時に届出が止まることも多い。

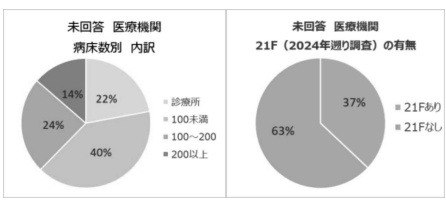
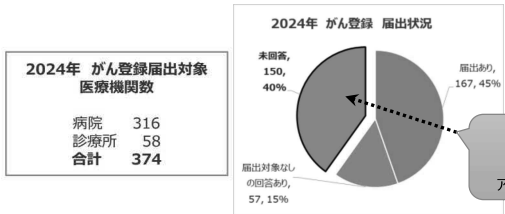
- 【対策】
- ・届出対象医療機関へがん登録届出の再周知
 - ・届出対象がない場合の報告を依頼(大阪府がん登録の対応を参照)
 - ・全国がん登録担当者の把握(メーリングリスト再整備)

【結果】2024年の届出医療機関数は前年比で約20%の増加

【今後の課題】届出も「届出対象なし」の回答もない医療機関への働きかけ

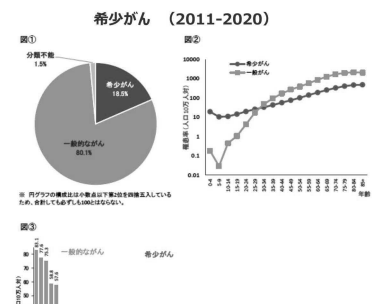
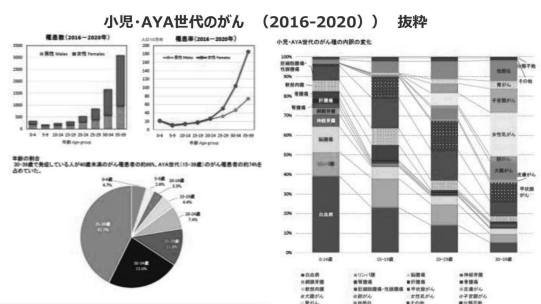


「2024年がん登録届出が初めて、もしくは数年ぶりの医療機関 内訳(数)」
届出が初めて 5施設
数年ぶりに届出 10施設※
通り調査回答あり 19施設※
(※ 重複あり)



2. 愛知県のがん対策に資する取り組み

「誰一人取り残さない」の理念から、2018年症例より愛知県HP「愛知県のがん登録・統計」および「愛知県のがん統計」冊子に、小児・AYA世代のがんと希少がんの集計結果を掲載を開始。今後も愛知の実情に沿ったがん情報基盤整備を進める。



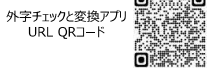
3. 名古屋市におけるがん検診の精度管理のための外部照会

【目的】名古屋市のがん検診の精度管理。

【対象】2014～2018年検診実施者。

【現状】まずは2018年がん検診受診者(延べ約48万件)の外部照会を実施し、感度・特異度などを算出。

【課題】クレンジング作業(外字への対応など)、マンパワー、今後の受診者リストデータ形式確定など。



【COI開示】本演題に関連して開示すべき利益相反はありません。
【謝辞】弘前大学 松坂方士先生、田中里奈先生、愛媛県がん登録、大阪府がん登録、宮城県がん登録